

令和3年度 農林水産物直売所実態調査結果の概要

本調査は、県内の農林水産物直売所の活動実態を把握することを目的として、令和3年8月に実施したものです。調査時点は、令和3年3月末現在です。

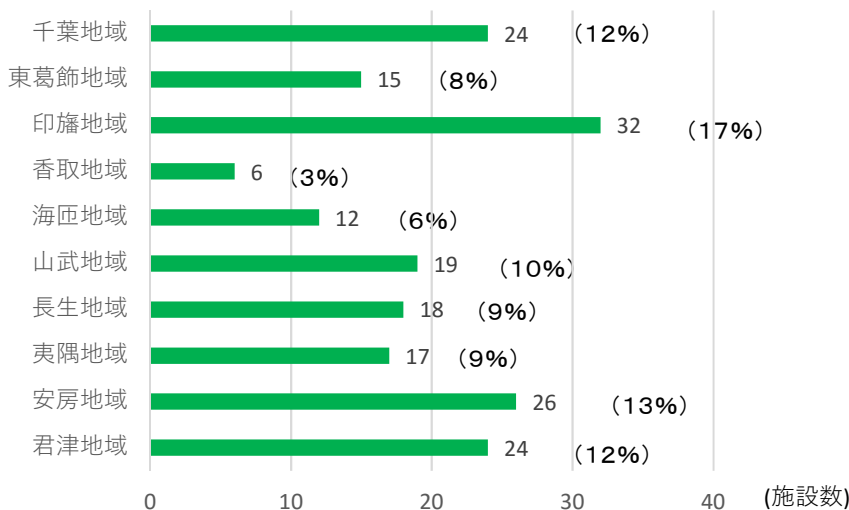
1. 施設数、売り場面積、年間購入者数、年間販売額の状況

県内には約200の直売所が設置されており、令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の年間販売額は、回答を得た167施設で約240億円にのぼり、1箇所当たりの平均販売額は、約1億4千万円となった。

調査年度	施設数 (箇所)	売り場面積 (㎡)	年間購入者数 (千人)	年間販売額 (百万円)
令和3年度	193	45,535	17,893	23,673
	(回答数 176)	(回答数 174)	(回答数 171)	(回答数 167)
1箇所当たり	-	261.7	104.6	141.8

2. 地域別設置状況(施設数193)

千葉・印旛・安房・君津地域では多くの直売所が設置され、香取地域では少ない。



調査対象

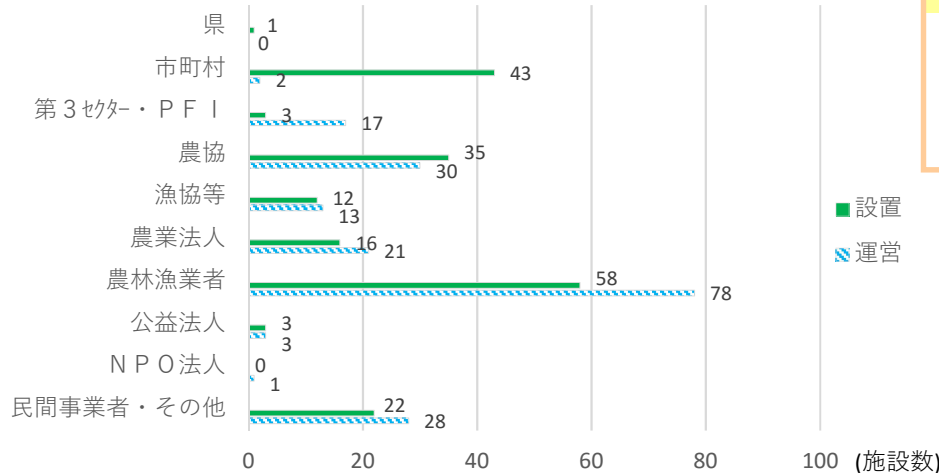
農林水産物を消費者に直接対面で販売する有人施設で、次のいずれにも該当する施設
 ア 県、市町村、公益法人、第3セクター・PFI、農協・漁協等、農業法人、NPO法人、3戸以上の生産者が設置又は運営している施設(民間事業者が運営する場合、役員の半数以上が農林漁業者であること)
 イ 建物があり、常設・通年営業(土日の営業のみも含む。)の施設

調査時点

令和3年3月31日
 年間購入者数及び年間販売額については、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの実績

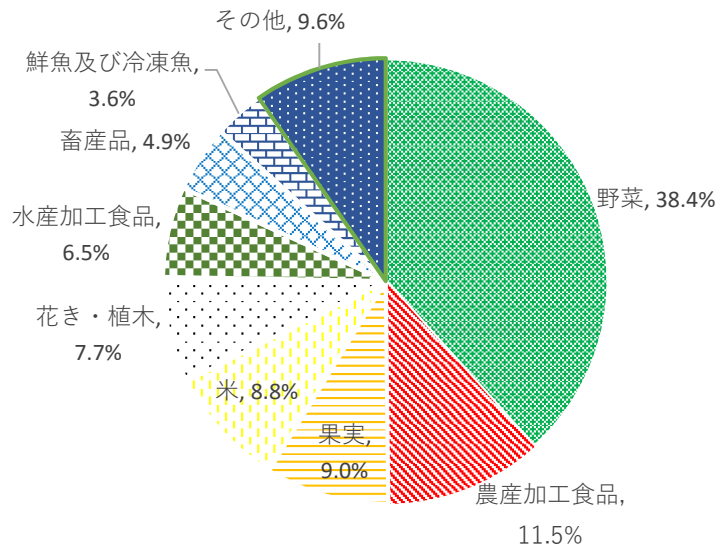
3. 設置・運営主体(施設数193)

農林漁業者の任意団体で運営している施設が、全体の40.4%を占めている。



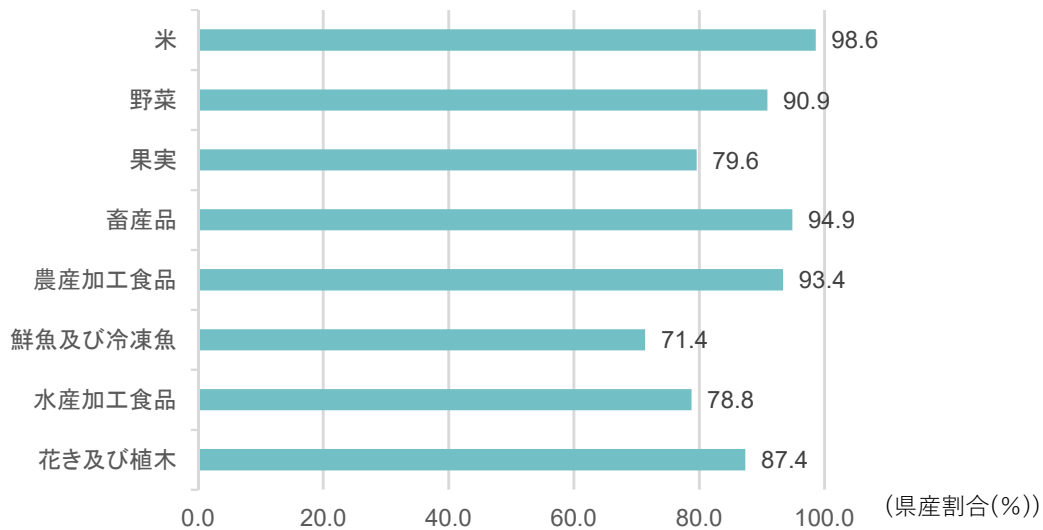
4. 販売額の品目別割合(回答数163)

直売所の総販売額の38.4%を野菜が、11.5%を農産加工食品が占めている。



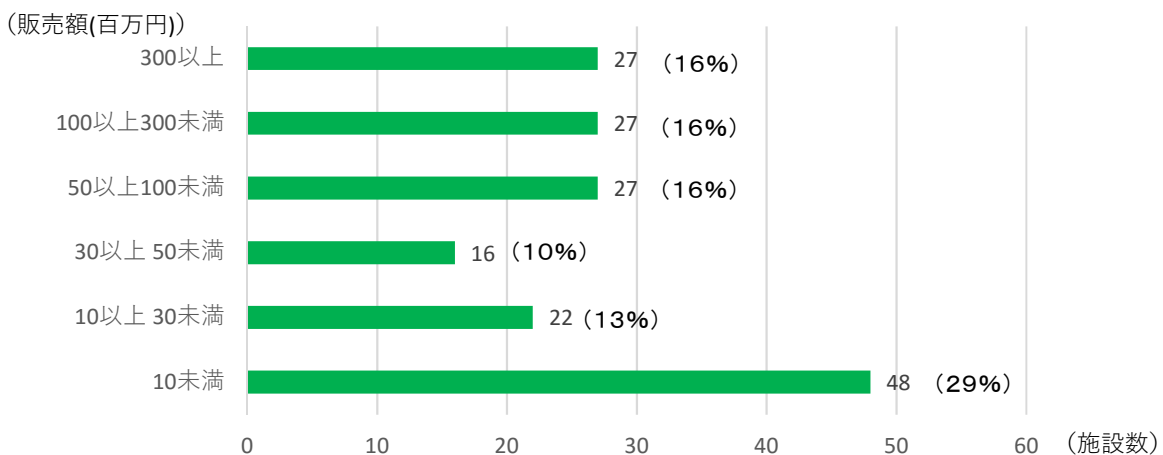
5. 品目別の県産品割合(回答数171)

直売所の県産品の割合は、全体の86.9%を占めている。



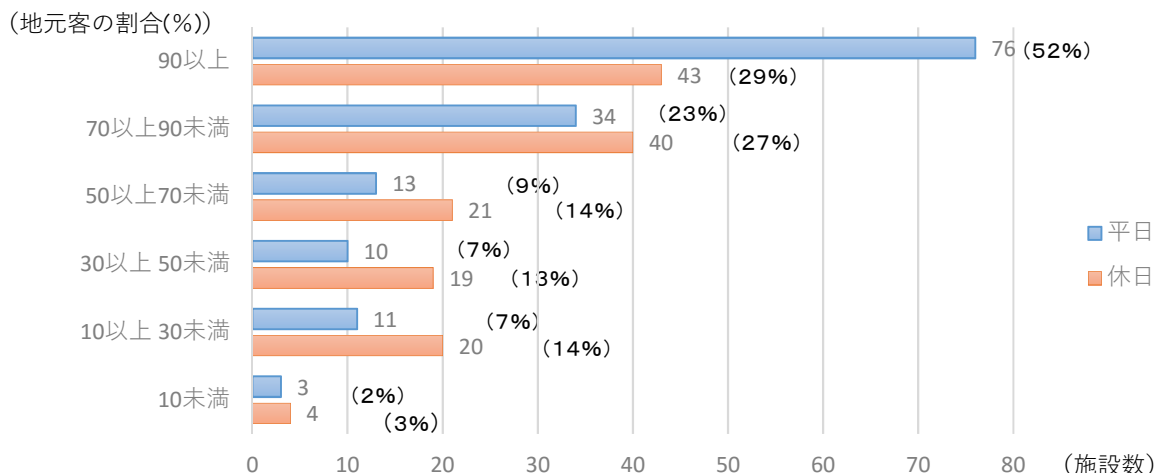
6. 年間販売額別の施設数(回答数167)

1千万円未満の直売所から3億円を超える直売所まで幅広い。



7. 利用者を占める地元客の割合(回答数147)

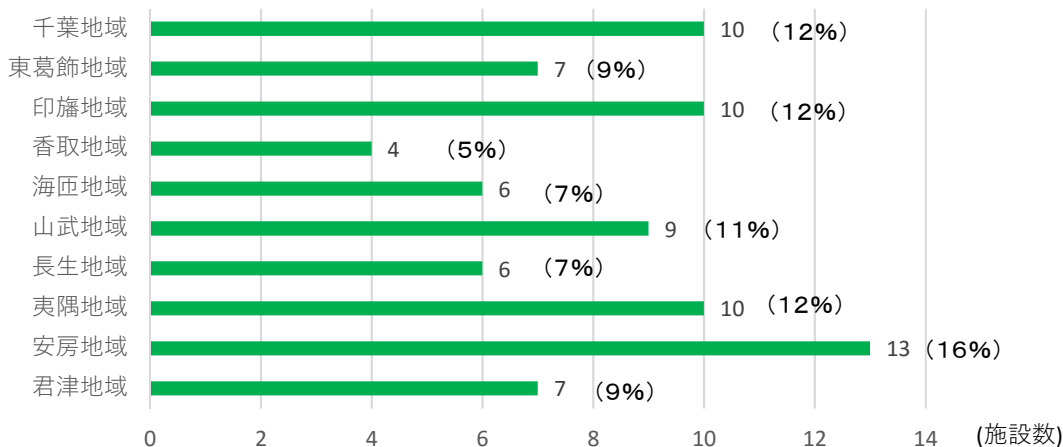
90%以上の利用者が地元客である直売所は平日76箇所、休日43箇所と最も多い。



8. ちばエコ農産物※取扱直売所数(回答数176)

ちばエコ農産物は、82箇所(回答施設の46.6%)で取り扱われている。

※ ちばエコ農産物:化学合成農薬と化学肥料を通常の半分以下に減らして栽培された農産物 (取扱のある82施設中の割合(%))



【参考】施設数、平均年間購入者数、平均年間販売額の推移

施設数は近年減少傾向である。1箇所当たりの平均年間販売額は平成30年度から5%減少したものの、平均年間購入者数はほぼ横ばいとなっている。

